



大臣表彰された愛護会の会長
小川 慶一さん・84歳
城東町四丁目

「いぎいき」苦勞さまの一声が元氣の源

長年にわたる広瀬川の清掃活動が評価され城東町四丁目愛護会が「みどりの愛護」功勞者国土交通大臣表彰を本県から唯一受けた。その会長を務める。

「まさかこんなにつばな賞をいただくとは。今まで、会員のみなんで協力し、頑張ってきた結果です。大変うれしく思います」

20年ほど前、老人クラブが母体となってこの会を発足。当時、この広瀬川沿い緑地帯は薄暗く、町の中でも危険な場所だったという。住民が安心して通れるようにと、この活動が始まり毎月1回、第2月曜日の朝7時から川沿い150mを清掃している。

「草取りや落ち葉拾いなどを行っています。この年になると、外に出

て体を動かすことが大事なんです。みんな顔合わせ、会話をすることも楽しみです」

老人クラブの会長と月2回、交通安全のパトロールも行う。住み良い町づくりのため、忙しい毎日だ。

「暑い日、寒い日は大変です。でも、子どもたちから「ご苦勞さまです」と声を掛けられると、それが励みになり、また頑張ろうという気持ちになりますね」

誰もがきれいな町、安全で安心な町を望む。

「趣味は旅行。旅先で写真を撮るのが好きなんです。町の行事があるとなかなか行けないですね」と笑顔で語る。

これからも、元気に地域住民のため、町を見守ってほしい。

市民が作った土器で石室を再現

5月27日、大室公園で「☆きらり☆再現 前二子古墳」が開催されました。これは、前二子古墳石室を市民の手で復元する3年計画の第1次完成行事。市民の手で作られた土器などを、前二子古墳石室に納めました。また、会場では、まが玉作りやスタンプリナーなどたくさんイベントも。訪れた人たちは古代ロマンに思いをはせていました。



行政自治委員に市政説明

行政自治委員の事務連絡会議が5月31日、総合福祉会館で開かれました。功勞者表彰に続き、会議では高木市長や市の担当者が市政の概要などを説明。今後、委員の皆さんには、市民と行政のパイプ役としてご活躍いただきます。



中之沢の森に響く音色

5月19日から粕川地区18会場で行われた粕川アートフェスティバル。10回目を迎え、最終日の27日には中之沢美術館で陶器や雑貨などの露店が立ち並び、ミニライブも。新緑の森に優しい音色が響くと、訪れた人たちは聴き入っていました。

若い芽のポエム

昨年度行われた第10回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

★佳作 雲とアリ

桃瀬小6年 林 稜さん

空にかがび 白い船が
ふわりふわりと 西から東へ
雨をふらし 雪をふらし 雷を落
とし
進んでゆく

海を見下し 大地を見下し
ゆっくり進む

黒い点は
えさを探し
列をつくり
えさを運び
巣へ進む

雲もアリも
過去から未来へ
終わりにく進む

白い船は
西から東へ
命をふらし
命を落とし
進んでゆく

★佳作 うさぎ

宮城小1年 鹿田 廣子さん

地面をはう 黒い点が
地面をほり
せせせせと
巣をつくる

うさぎさんをみたら、
かわいいうさぎだったよ。
さわいたらふわふわしてて
かわいかったよ。
だっこしてみたら
あったかかったよ。
あつたかかったよ。
しんぞうをきいてみたら
ビックリしたよ。
だってヘリコプターみたいなおとだったよ。